



☆今月の目標☆

- *水の心地よさを感じながら、水遊びやプール遊びを楽しむ。
- *夏の健康的な生活の仕方を知る。
- *夏の自然に触れ、興味や関心を持ち、世話をしたり観察をしたりする。

★家庭教育12か条★

8月は
「家族で決めよう家庭のルール」

毎日暑い日が続き、子どもたちは水遊びやプール遊びに心地良さを感じています。保育部では、カップやジョウロに水を汲み、水が流れる様子をじっと見ていたり、保育者と一緒にワニ歩きに挑戦してみたりしています。幼稚部では、顔つけに挑戦したり、貝拾いを通してプールの中に潜ってみたり、泳いでみたりと自分のできることに挑戦しながら楽しんでいきます。

また、北条砂丘太鼓保存会の津島さんに太鼓を披露していただきました。大きな音や迫力に驚きながらも、5歳児は“今度は自分たちの番だ”と期待を込めた眼差しで見っていました。

引き続き、水分補給や休息を取りながら、健康に過ごしていけるよう保育していきます。



【令和7年度 研究主題】

「自分が好き・友達が好き・先生が好き・みんなが好き・

互いに理解しあいながら、一緒に遊ぶことを喜ぶ子をめざして」

～身近な人とつながり、多様な感情体験を通して人とのかかわる喜びを育むための環境と援助の工夫～

暑い夏を過ごしている子ども達。生き物や水遊び、プール遊び等夏ならではの遊びを通して、友達や先生達と一緒に、面白いこと、発見したこと、びっくりしたこと等を共有しながら楽しんでいきます。自分を受け入れてくれて、一緒に笑ってくれる、楽しんでくれる、悲しんでくれる、そんな存在があるからこそ、人との関わりも広がっていきますね。(今回は2歳児さんの姿です。)

生き物って不思議
なんだかわくわく



大好きな生き物達発見！
みんなで興味関心を共有して、さらにわくわく！



せんせい大好き、
あのね・・・

身近な大人や友達への安心感を土台に、どんどん関わりを広げていきます。心地よい人との関わりをたくさん感じながら過ごして欲しいですね。

「せんせい、あーんして」
大好きな先生に受け止めてもらう喜びが安定した心を育てる土台となります。

友達と一緒に



(近くの)友達とやりとりしたり、一緒に笑ったりして楽しいな♪



「みんなと一緒に」も楽しくなってくる2歳児です。



8月 行事予定						
日	月	火	水	木	金	土
					1 家読／布団 BG(5)	2
3	4 BG(5)	5	6 おにぎり	7 絵本 プール納め(5)	8 布団 1学期終業式 プール納め(0～4)	9
10	11 山の日	12	13	14	15 布団	16
【夏季休業預かり保育】12日～15日 おかず入り弁当、水筒を持参						
17	18 2学期始業式	19 身体測定(5)	20 おにぎり 身体測定(4)	21 絵本 身体測定(3) 英語で遊ぼう(5)	22 家読／布団 身体測定(2)	23
24/31	25 身体測定(0.1) 避難訓練	26 つくしんぼ(3)	27 おにぎり 誕生会(3～5)	28 絵本 誕生会(0～2)	29 布団 ピカピカデー	30

*毎日持ち帰り:歯ブラシ、コップ

*毎週水曜日:おにぎり弁当(3, 4, 5 歳児)

*毎週木曜日:絵本貸出し日

*毎週金曜日:カラー帽子、布団持ち帰り

*第1,4金曜日:家読デー(3, 4, 5 歳児)

*月末金曜日:外靴持ち帰り



☆9月の主な予定☆

6日夕涼み会

27日 PTA 清掃作業(おおぞら、たいよう、ぞう、ぱんだ、りす、7月欠席の方)

☆10月4日(土)運動会



◆折り鶴のご協力ありがとうございました◆

お子さんと一緒に折り鶴を折っていただき、ありがとうございました。皆さんの温かい気持ちを折り鶴に託して、平和の火リレーランナーに広島平和記念公園に届けて頂くよう手渡しました。平和の願いを込めて、子どもたちに命の尊さと平和の大切さを伝えていきたいと思います。



◆夏季休業中の預かり保育について◆

*12～15日に保育を希望される方は、おかず入り弁当・お茶入り水筒を持参してください。

(お弁当に保冷剤(記名)を入れてきてください)

*保育希望された方で、この期間にお休みをされる場合も欠席連絡をお願いします。



おすすめ絵本コーナー(8月)



『花さき山』 <作・斎藤隆介 絵・滝平二郎>

山に山菜を取りに行ったあや。そこで山んばに会い咲き乱れる一面の花を見る。やさしいことをすると花が咲くという“花さき山”。

この絵本は、自己犠牲を求めているのではなく、自己肯定の本ではないかと感じます。一人ではなく「みんなの中のひとり」として生きていく。みんなの中でみんなとつながろうとする自分が、自分を更に最高に生かすことになると思える。そういう子どもたちが沢山生い育って欲しいという作者の祈りの本です。

< 保育教諭 山本 由紀美 >